



発行:(株)山研ビルサービス 発行日:2021年5月25日

272-0143 市川市相之川 1-18-20 Tel:047-358-4023 Fax:047-357-3738

HP : <http://www.yamaken-bs.com> E-mail : office@yamaken-bs.com

『病とつきあう』

【松下 幸之助】

病気は怖れ遠ざければ追いかけてくる。病気と仲良く親しんで、積極的に近づいていけば向こうが逃げていく。健康、それは仕事はもとより何をするにもきわめて大切です。ところが世の中というものは、なかなか思うようにはいきません。私が幸いにも九十歳の今日まで、なんとかやってくることができたのも、そのように心がけてきたことによります。二十歳の頃、私は電灯会社に勤めていました。ある夏のこと、海水浴からの帰り道、なにげなく吐いたタンの中に血が混じっていたのです。さっそく医者に見てもらおうと「あんた肺尖カタルや。半年ほど会社を休んで、故郷へ帰って静養することやな」ということです。当時はすでに父母はなく、故郷に帰る家もありません。しかも給料は日給で今のように保険もなかったの、休めばたちまち食うに困る、せっぱつまったのです。そこでもう仕方がない、病気になったのも自分に与えられた運命だと度胸を決めて、可能な限り養生しようと考えて、三日働いては一日休み、一週間出勤しては二日家で休養する生活を続けました。ところがそれで病気が進行したかという、それ以上悪くならなかった。キチンと養生しなければ死んでしまうかもしれないと医者と言ったほどの病気でしたが、不思議なことに進行が止まってしまい、その後も病気の方は一進一退、戦後になってからは、どうしたわけか若い頃よりも丈夫になったのです。どうしてこうなったか、やはり、病気になったとき、“これが運命ならば仕方がない。甘んじて受けよう”と腹をすえたことがよかったのではと思います。むしろ、これは天が与えてくれた修練の場だと積極的に病気とつきあい、仲良くしていこうと考えて務めたことがいい結果を生んだ一つの要因です。

(『人生心得帖』より一部抜粋させていただきました)

物事は心の持ち方次第ですね。私もガラス清掃の仕事をしていた頃、上ばかり見て働いていて、頸椎(けいつい)を悪くして首が回らなくなり、ズボンのベルトで首を引っ張って治した時も仕事をしながらでしたね。やはり、仕事をするこゝとして大事ですね！

【山下 久人】



● 『第41期 経営計画発表会』 報告 ※4月28日(木)15時~17時(23名参加)

今年度も新型コロナウイルス感染予防のため、全員での研修会は差し控え、『経営計画発表会』につきましては、予防対策を徹底しての開催となりました。皆様にも経営計画書をお送りしますので、お読み下さいますようお願い致します。



『社長あいさつ』

【山下 信之】

昨年より新型コロナウイルス感染症の影響で、激動の時代となり、企業は大変大きなダメージを受けています。弊社では、皆さんがお客様の為にと奮闘して下さいのおかげで、少しですが業績を上げることができました。



【挨拶に立つ山下信之社長】

私は十代の頃、人生について思ったことがありました。(父の会社を継いで社長になり、年をとって死ぬのか。簡単でつまらないな。)と漠然と考えたことがありました。

実際、社長になりやってみますと、とてつもなく大変で、何度か父と衝突することもありました。迷いながらやっていく中で、仲間に助けってもらったり、また従業員も増え会社の成長が喜びとなり、やりがいになってきました。

今期は、“生き残るために変化” “未来を輝かせるために行動”していきます。どんなに大変なことも楽しく乗り越えていきます。皆さん、宜しくお願い致します。

【経営計画発表会の様子 / 山研ビルサービス事務所にて】



【経営方針を発表する山下久人会長】



【参加した従業員も目標と夢を発表しました】

